



8月24日に行われた秋サケの初セリ

広報

しべつ

萌える海と大地・さわやか交流郷

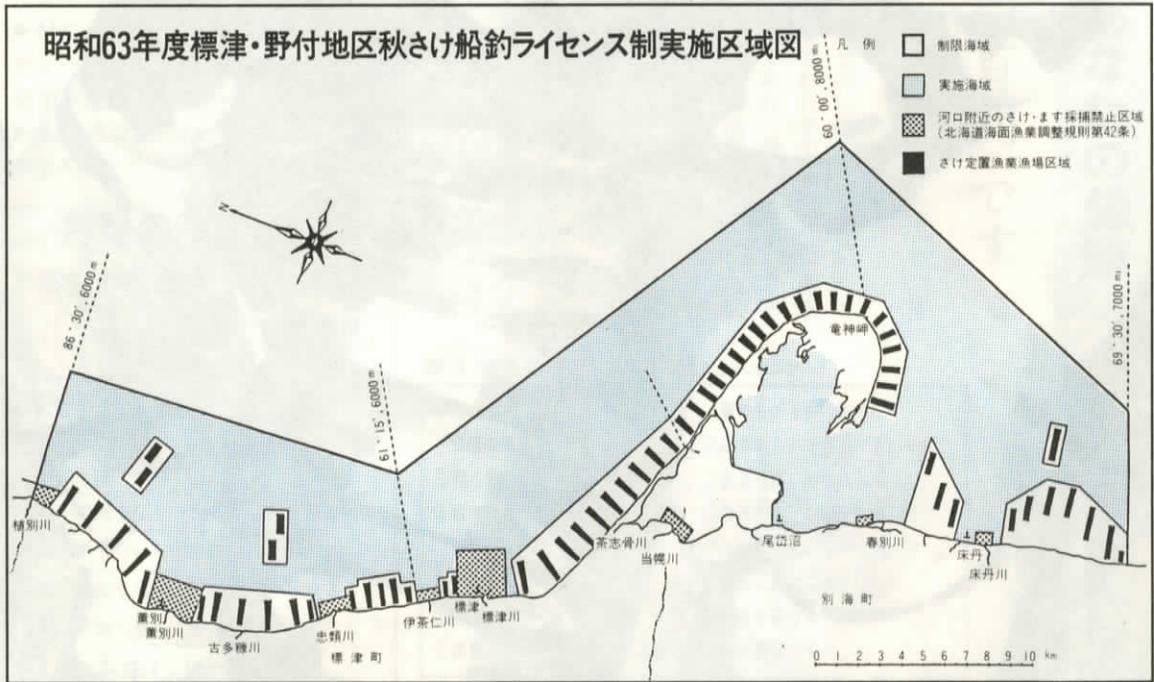
秋サケ漁がいよいよ始まりました。8月24日には初セリが行われ、市場は活気に満ちています。

今年は60年に次ぐ豊漁が予想され、雄が平均4.1kg、雌が3.4kgと型もよく、浜値は、銀毛雄が1,230円～1,220円、銀毛雌が1,420円～1,370円と昨年の1割程度高値で取引されています。

標津・野付地区秋サケ船釣り ライセンス制を実施

漁業者と
遊魚者との
共存めざして

昭和63年度標津・野付地区秋さけ船釣りライセンス制実施区域図



八月二日一時から、標津町役場において根室海区漁業調整委員会（委員長阿部兵吾、白濁協組合長）主催の標津・野付地区秋さけ船釣りライセンス制の説明会が行われました。

説明会には、管内各漁協役員、職員、市町職員、漁業者、遊漁船主、レジャーボート所有者ら五十人が出席し、内容の説明を受けました。

説明によると、今年の八月二十日から十月三十一日までは上図の制限海域では秋サケ船釣りを行うことはできないが、同年九月一日から十月三十一日までの間は実施海域に限り、海区委員会のライセンスを取得した人（人）に限り、次の条件の中で秋サケ船釣りを行うことができるとしています。

- (1) 漁具・漁法の制限—竿釣に限られ、一人一本とする。
- (2) 釣果の制限—一人一日五尾以内。
- (3) 放流などの制限—釣獲したサケを放流、または廃棄してはならない。
- (4) 販売などの制限—販売、または他の物との交換を目的として秋サケ釣りを行ってはならない。

ない。

(5) 承認船舶への乗船—海区委員会の承認を受けた船舶に乗船しなければなりません。

(6) ライセンス証の携帯—ライセンス証を携帯しなければなりません。

(7) 釣果の報告—秋サケ船釣り終了後、釣果を本委員会に報告すること。

また、承認する船舶の隻数は標津漁港を根拠地とするものは四十隻以内。

尾岱沼漁港を根拠地とするものは五十隻以内としています。

六十三年度のライセンス制の実施区域は上図のとおりですがサケ定置網の先端二〇〇沖以上が実施区域となります。

海区調整委員会事務局からの説明に対し、出席者からは、「漁港を遊漁船が使用する際、安全性を考慮して、サケの釣れる区域を決めて釣らせてはどうか」「ライセンスのシーズン券は」「違反者に対する罰則規定は」などの質問が出されました。

これに対し、海区調整委員会からは、「このライセンス制は日本では初めての制度となるもので漁業者と遊漁者とが共存できる

道を探るものです。さまざまな課題はありましようが、釣りのルールを守りながらより良い方向を目指したい」と述べました。

▼漁業調整委員会

漁業法に定められており、海区漁業調整委員会と連合海区漁業調整委員会とがあります。

海区委員会は、農林水産大臣の定める海区ごとに設置され、原則的には、一県一海区です。

太平洋、日本海、オホーツクに面する北海道は十海区が指定され、標津町は根室海区（羅臼から落石まで）になります。

海区委員会は、知事の行う漁業の免許・許可について事実上の権限を持つと同時に、漁業調整について幅広い指示権をもっており、現行の漁業調整制度の中では中心的存在と言えます。

連合海区委員会は、海区と海区にまたがる問題処理・調整するためにあります。北海道にはひとつの連合海区があります。

サーモンダービーは 九月十四日から

名誉大会長に横路孝弘氏

七月十五日から申し込み受け付けを開始していた第一回サーモンダービーも、いよいよ今月十四日からスタート、大会役員も出そろい、いよいよ本番を迎えます。名誉大会長には、北海道知事横路孝弘氏が決まり、国内初のサーモン船釣り公式大会としての形も整ってきたようです。

実行委員会も本番の準備におおわらわ、ぜひとも成功させてほしいと願わずにはいられません。大会役員・大会日程は次のとおりです。

名誉大会長
○横路孝弘（北海道知事）
顧問
○シム・C・マレー（太平洋サケ

マス協会長）

○金川幸三（北海道観光連盟会

長）

○長谷部純雄（北方圏センター

専務理事）

○岡野平吉（根室観光連盟会長）

○矢口高雄（作家）

大会長

○小田桐四郎（標津町長）

副大会長

○西山吉二（標津漁協組合長）

○吉田昇（標津町農協組合長）

○後藤一郎（標津町商工会長）

○鍛冶英介（道スポーツフィッ

シング協会長）

○久末鉄男（日釣振北海道支部

長）

○稲村聡（標津観光遊漁船組合

長）

大会委員

○牧野利春（北海道釣具卸商組

合長

○本間征生（道スポーツフィッ

シング協会副会長）

○吉崎昌一（道スポーツフィッ

シング協会理事）

大会日程

月日	9月14日(水)	15日(木) 16日(金) 17日(土)	9月18日(日)
4:00		・参加者集合 ・標津港出港	・参加者集合 ・標津港出港
5:00			
12:00		・標津港帰港 ・計量、計測 ・ランチパーティー ・成績発表	・標津港帰港 ・計量、計測 ・アキアジ祭り会場へ移動 ・ランチパーティー ・成績発表 ・総合表彰式 ・閉会式
13:00			
16:00	・参加者受付	・参加者受付	
18:00	・開会式		
19:00			



（敬称略）

▼サーモンダービーに関する問い合わせ（標津町商工会館内）

☎〇一五三八―二一三九九六

○佐伯昌夫（道スポーツフィッ
シング協会理事）
実行委員長 坂口昌慶
副実行委員長 米持仁志・東口
吉夫・大桃幸男
事務局長 藤本靖
事務局員 西山一成・佐々
木力也・小笠原
正一

標津の寒い夏(?)も

アットい間に過ぎました

しべつ港まつり



浴衣が似合いますよ

いつもふるえながらのビアストリート



ビアストリート '88

七月三十・三十一日の二日間
第三回目のビアストリート'88が
標津町内西一条通りで開催。約
五百人がビールを楽しみました。
初日は好天に恵まれたのです
が翌日は肌寒い霧まじりの天気。
このイベントが両日天気に恵ま
れることは、まずないようです。
雨が降るよりは良いかも知れま
せんが――。

力をふりしぼって



ミニペイロン競走

ヤングフェスティバル

調理現場をみると食欲が：



8月15日に標津町商工会館前で行われ
た第2回目のヤングフェスティバル。今
年は漁協青年部を中心に、100人以上もの
若者が協力しあって開催しました。

会場へは、およそ1,000人の町民が訪れ
牛の丸焼に舌鼓を打ちました。

八月十三・十四日は、しべつ
港まつり。昨年、雨のため中止
になった標津音頭パレードも、
小雨のそぼ降る中、なんとか出
来たようです。
翌日、標津漁港での行事は、
綱引き、縄飛び、ミニペイロン
競走、舟こぎ競走が行われ、地
区別対応のミニペイロン競走で
は、選手が交替する際、次から
次へと海に落ちるなど熱戦が展
開されました。

“今年の冬こそ イベントの見直しを”

標津町のイベントは、最近急激に増えつつあります。特に若者の動きが目立つようです。毎年開催される全町的なイベントを指折り数えると、桜まつりから始まり、ヤマベ釣り大会、三百歳ソフトボール大会、ピアストリート、港まつり、盆踊り農業祭、オホーツクマラソン、ポー川まつり、クリスマス集い、冬まつり、と年中行事が行われています。

この他に、各種スポーツ大会文化行事、各地区、各町内会、各職場の催しと、七、二〇〇人くらいの人口規模で、これだけのイベントをこなしている町も珍しいのではと思えるほど多い。さらに、九月十四日からはサーモンタービーも開催されます。確かにそれぞれ目的が違うようにも思いますが、実施する人達の苦勞は並大抵でないことが解ります。同じスタッフの見られるイベントも少なくありません。

祭りによってはマンネリ化を招いているものもあるようです。継続することはもちろん大切ですが、同じやるにしても気持ちの入っているものと、そうでないものとの違いは、部外者の方が良く解っているようです。

祭りを行うには、相当なエネルギーが必要で、これだけのエネルギーがあるなら、何んとか統合できるものは統合できれ

ばと思います。こんな声は町民の中からもしばしば聞きます。こんなに小さい町です。若者にできること。年輩者にできること。相方がかみあった祭りこそ汗する喜びを感じ、結果として町外からの客も集まってくるものと思います。

祭りの原点は、自らがやって楽しい、見る者も楽しいことです。今年の冬こそ時間をかけ、標津のまつりについて考えたいものです。

祭りの原点は、自らがやって楽しい、見る者も楽しいことです。今年の冬こそ時間をかけ、標津のまつりについて考えたいものです。

北方少年交流に参加した 小林由加子さん(標津中2年)

七月二十七日から三十日の四日間、竹下首相に北方領土返還を呼びかける北方少年交流会が東京で行われ、根室管内から中学生七人が参加しました。標津町からは、おじいさんが国後島の引揚者である小林由加子さんが参加し、竹下首相に北方領土の早期返還を呼びかけました。

北方少年として

東京へ行って

標津中二年

小林由加子



私が東京へ行って、一番印象深かったことは、やはり、竹下総理大臣に会ったことです。竹下総理大臣は、テレビなどで見た感じと同じく、やさしそうな人でした。また、いっしょに行った、浜辺君の「祖先が開拓した北方領土を一日も早く日本に返還されるようお願いいたします。」というよびかけに、いろいろ返事をしてくださって、「忙しいなか北方領土のことを考えてくれてるんだなあ。」と思いました。

これとはまったく違う面で印象に残っていることは、三日目に宿泊したシエラトンホテルから見た花火です。この花火は、東京デイズニールランドの方であっているもので、約十分間あがっていました。とてもきれいでした。

東京での四日間、楽しく過ごしたのは、一緒に、北方領土のことを勉強した、各地からあつまってきたみんながいい人達ばかりだったからだと思います。大隅さん、澤さん、深川さん、五十嵐さん、浜辺くん、鈴木くん、上野くん、みんな明るく楽しい人ばかりでした。

そして、四日間一緒に付添ってくれた河田さんと二階堂さん。東京でお世話になった佐藤さん、渡辺さん、西野さん。その他いろいろな人達にお世話になりました。本当にありがとうございました。



祝 標津町町制施行30周年

標津町長

小田桐四郎



町制三十年の佳節を、七千二百町民とともに栄光をたたえ喜びを分かちあえることを心から感謝申し上げます。

町制が施行された昭和三十三年前後の往時を顧りみますと、当町の産業の大宗をなしている農業においては、高度集約酪農地域の指定を受けてジャージ牛の導入をはかられ、漁業にあつては、浅海増殖事業としてホタテ稚貝の放流がなされ「育てる漁業」が緒についた頃でもありました。

お陰をもちまして町勢が日々に進展を続けることのできました。

のも郷土標津町の建設に多大なご貢献をいたされました町民各位のご尽力によるものでありまして、この機会に改めて深甚なる感謝の誠をささげるものであります。

時移り、古い歴史と伝統の町標津も近代地方都市としていつそあの飛躍が期待されており、それだけに成しえなければならぬ喫緊の要務が山積しております。

町制三十年を一節とし、今後さらに本町の発展のためにご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。願ひ申し上げご挨拶といたします。

式典

9月10日(土)

午前10時

標津町農村環境改善センター

表式
表彰

自治部
社会部
産業部
教育・文化部門

功勞者表彰
優良酪農家表彰
優良勤労者表彰
優良納税者感謝状贈呈
公益寄付者感謝状贈呈

祝電披露

祝電披露

町歌斉唱

お礼の言葉

アトラクション

郵便局からのお知らせ

シルバー保険(介護)介護保険金付終身保険「新発売」
九月一日から発売するこの保険は、特色として保障が一生続くほか介護を要する状態(特定要介護状態)が一定期間継続した場合にお支払いします。保険料の払込期間はお加入から六〇才六五才七〇才七五才までの四種類を取りそろえておりますライフサイクルに合せてお選びいただけます。
詳しくは郵便局の窓口かセー
ルスマンにお尋ね下さい。

潜在看護婦研修会のお知らせ

家庭などにあつて就職していない有資格者、就職して一年未満の看護職を対象に最近における医学、看護に関する再教育を実施して、潜在看護力の再稼働を促進することを目的としています。

＜開催地区・期日＞

(1) 札幌地区

63年9月26日～10月1日

(2) 札幌地区

63年10月17日～10月22日

(3) 旭川地区

63年9月5日～9月9日

詳しいお問い合わせは：

役場保健課(TEL2-121)

31・内線132、141)

かつあき
金子(章かっ人枝)さんちの勝秋くん(62.9.24生)

川北共栄町 ⑩



勝秋くんは、お目々がパッチリとしています。お母さんは「お父さん似ですよ」と話してくれました。

勝秋くんは、まだ歩くことはできませんが伝え歩きで部屋狭しと動き回り、狭い所のコンセントなどを抜いてしまうそうです。

お父さんは、4時半には起きて仕事に出掛けます。勝秋くんも、お父さんといっしょに起きて見送るんです。勝秋くんはお父さんが大好きです。



まちの
声・声・声



⑪



「自ら学ぼう」

森高 清さん

(忠類小学校教頭)

この度、標津町生涯教育推進委員を委嘱され、委員としての所感を記します。

生涯教育・生涯学習の言葉を身近に受け止められるようになったのは、ごく最近のことである。

昭和四十年・四十六年の社会教育審議会・中央教育審議会の答申でこのことが使われた。三年前、臨時教育審議会の教育改革に関する第一次答申で輪郭が出てきた。そして一昨年四月の臨教審第二次答申で具体的

な提言が示され、生涯教育・生涯学習(生涯教育とは、学令期の教育だけでなく、生涯を通じて教育の機会を保障すべきであるとする教育観にもとずいて行なわれる成人教育)が私たちに身近なものとして理解されるようになってきた。

当標津町においても、町民のアンケート調査では、活力と魅力のある住み良いまちにしたいため、どうしたらよいかという問いに対して「産業の振興・雇用の場の拡大」「医療福祉の充

実」「地域活動の活発化」「教育文化の振興」を望んでいる。これらを達成しつつ二十一世紀へ向けてのまちづくりを考えると生涯教育体制、体系が十分とはいえない。

町民の生涯学習は、地域課題、生活課題と大きく結びついており、それらに対応する学習機会の提供や町民個々の学習を援助促進する手立てなどが強く求められています。

この度、標津町生涯教育推進本部が設立され、その推進が期待されておりますが、生涯学習についてみなさま方の理解と関心を深めていきたいと思ひます。

生涯教育、生涯学習を進めるに当たり、社会教育団体、地域団体はもとより、目的団体を育成することが大切ではなからうか。とは云つても、生涯教育の推進には、「学習者自身が自ら学ぼう」とする意識と意欲を持たなければならぬと思ひます。

(次のあなたは森高さんが選んだ忠類の葛西さんです。)

19種目に250人が歓声

第16回 標津町老人スポーツ大会



ボールはどこへいったやら

七月二十九日十時から古多糠小中学校グラウンドで第十六回標津町老人スポーツ大会が行われ二五〇人が熱戦を繰りひろげました。

ニアピンコンテスト、晩酌リレー（コップの水を一升ビンに入れる）、入れ歯落とすな（センベイ食い競走）など十九種目の競技に盛んに歓声をあげていました。

中には、ランニングにパンツ姿のおじいさんも登場し、関係者をハラハラさせた場面もありました。

北方領土返還祈願望郷ラインサイクリング

8月6日に始まった北方領土返還祈願望郷ラインサイクリング。今年には366人が中標津からノサップ岬までの164.6*。に挑戦し、標津町からは10人が参加しました。

標津から
10人が参加



役場前で休憩

雨の中700人が買物

ふれあい青空市

七月三十一日に行われた「ふれあい青空市」には、強い雨の降りしきる中、七〇〇人ものお客さんが中央公民館に集まりました。

関係者は「仕入の鮮魚が売れるかどうか心配していたが、安心しました。それにしても、この雨の中こんなに人が来るとは」と驚いていました。



鮮魚の前には客がいっぱい

標津町献血推進協議会に感謝状

献血の推進に積極的に協力していることから、7月26日に標津町献血推進協議会（飯村寿三会長）に対し、厚生大臣の感謝状が贈られました。



飯村会長

千島歯舞諸島居住者 連盟総会開かれる

八月二十日に役場において千島歯舞諸島居住者連盟標津支部総会が行われ、六十三年度事業計画、予算について協議され、新役員が次のように選任されました。

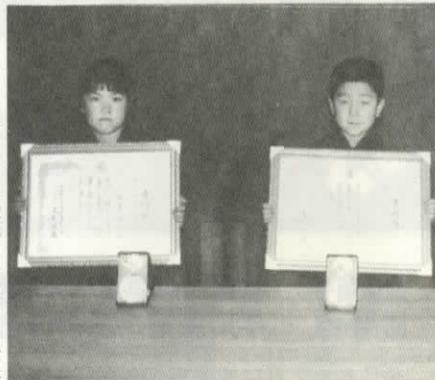
支部長に西山吉二さん

▼支部長 西山吉二さん
副支部長 矢野昇さん、森常雄さん
理事 浅野哲夫さん、西山昭一さん



西山会長

第8回北海道少年少女空手練成大会



古川くん(右)と大菅さん(左)

個人形

古川 倫也くん(標小2) 3位入賞
大菅小百合さん(標小2) 4位入賞

七月二十四日に江別市民体育館で行われた第八回北海道少年少女空手練成大会において、古川倫也くんと大菅小百合さんが見事入賞を果たしました。

この大会には、全道各地から小中学生一二〇〇人が参加し、個人形・個人組手・団体形・団体組手に分かれて技を競いあいました。標津町からは、標津町空手スポーツ少年団員九人が出場しました。

竪穴式復元住居の お色直し

ポー川史跡自然公園

八月一日から六日までの六日間。ポー川史跡自然公園内にある竪穴式住居の屋根を新しくふきかえました。
ヨシを使ったこの屋根は、中で火を使うことがないため次第に腐っていったものです。
新しいヨシは、釧路管内茅沼から四ノトラック二台分を運んで来ました。



管内家庭婦人ソフトボール大会

標津町から 2チームが出場

八月二十一日に、第三回根室管内家庭婦人ソフトボール大会が標津小中学校グラウンドで行われ、管内から六チームが参加して熱戦が展開されました。

標津町からは、スタースライト(黒田義雄監督)、川北レディース(吉田則行監督)の二チームが出場しましたが、惜しくも一回戦で敗退しました。優勝したのは、別海レディースソフトクラブです。



ソノノバントドノ

標津中学校が

団体三位の快挙

八月一日、二日に京極町総合体育館において行われた第九回北海道中学校剣道大会女子団体の部で標津中学校が堂々三位に入賞しました。

この大会は中体連を兼ね、標津中からは、先鋒村上志穂さん(三年)次鋒吉田綾子さん(二年)中堅古瀬佳美さん(一年)副将水島由紀子さん(三年)大

将嶋名久美子さん

(三年)の五人が出場しました。

予戦リーグでは喜茂別戦で大将戦に持ち込み辛勝。決勝トーナメントでは、帯広五中と対戦。一勝二敗で惜しくも決勝に残ることはできませんでした。

しかしながら、団体三位は標津中学校開校以来の快挙。出場した五人



三位のメダルを胸に凱旋

は、いずれも剣道スポーツ少年団で鍛えていたもので、練習の成果が実ったものといえます。

主将の嶋名さんは「もう少し頑張れば、なんとかなったと思います。優勝した小清水中は、ほかとは気迫が違います。やはり普段の練習のせいでしょうか」と語っていました。

念法真教教団が二〇万円寄付



感謝状を受けとる長谷川さん(右)

8月20日、念法真教教団・教務総長長谷川霊信ほか114名の団員が北方領土館に訪れ、北方領土返還啓発推進へと20万円を寄付しました。

念法真教教団の寄付は、昭和60年から始められ、町としてこのほど感謝状を贈りました。

全国小・中・高空手道選手権大会

団体組手 宮崎 毅くんベスト8
団体形 早川勇気くんベスト8

8月6・7日に旭川市大雪アイスアリーナで行われた全国小中・高空手道選手権大会において、日本空手協会中標津支部から出場した早川勇気くん(標小4年)が小学生団体形(3人組)でベスト8に、宮崎毅くん(川中3年)は、中学生団体組手(3人組)でベスト8に残る立派な成績を残しました。



早川くん



宮崎くん

四〇〇ccのバイクで 交通事故ゼロ願 全国行脚

本道を皮切りに交通死亡事故撲滅を訴え、オートバイで全国行脚中の名古屋市緑区、西村互(わたる)さん(六三)が、八月四日に標津町役場を訪れました。四〇〇ccのオートバイ後部に看板を付け、ハンドルの下部には交通安全を呼びかけるカセットテープがセットされています。

西村さんは革ジャンに白ヘルメットのいでたちで、一見、警察官。道内は四月から始まり、十一月ごろまで道内キャンペーンを展開します。

名古屋の西村さん



交通安全功勞感謝状

交通安全指導員 推進員を14年 佐々木一則さん

交通安全思想の普及と実践活動を行い、交通事故防止に寄与したとの理由により、八月十日に北海道知事から佐々木一則さん(四三)に対し感謝状が贈られました。

佐々木さんは、昭和四十九年から現在まで十四年間、標津町交通安全指導員、推進員を勤めています。

感謝状を受けとる佐々木さん



好天に恵まれ 第9回 農民運動会

第9回農民運動会が8月17日に川北中学校グラウンドで行われ、およそ300人が6チームに分かれ、徒競走に綱引きに終日汗を流しました。

手練れた農作業とは違い、次第にアゴが上がってくる場面もありました。



強い日差しの中元気がいっぱい



一日署長に任命される田中さん

移動献血車一日署長に 田中利枝子さん

伊茶仁に住む田中利枝子さんは、移動献血車一日署長に選ばれ、7月26日に献血車に乗り町民に献血を呼びかけました。

健康づくり講演会に180人

熱心な参加者



七月二十八日、午後一時から標津町農村環境改善センターにおいて、「成人病の子防について」と題しての健康づくり講演会が開催され、主婦を中心に一八〇人が熱心に聞きました。

「昔は伝染病で、今は成人病です。病死のほとんどが、ガンと心臓病と脳卒中。」

昨年、標津町で亡くなった方四十一人中、二十九人が、ガン脳血管、心疾患などの成人病です。高血圧症の原因は、①体質②塩分③ストレス④肥満があげられます。塩分は摂りすぎないように。

また、動脈硬化は動脈の老化現象で①血圧②脂肪③喫煙④糖⑤肥満が要因です。」と解りやすく説明してくれました。

標津の台所

4 歳入—分担金とはなに—

表 I 歳入

(単位:千円)

款	項	金額
交通安全対策特別交付金		2,000
	交通安全対策特別交付金	2,000
分担金及び負担金		489,896
	分担金	461,977
	負担金	27,919
使用料及び手数料		75,372
	使用料	63,848
	手数料	11,524

交通安全対策特別交付金

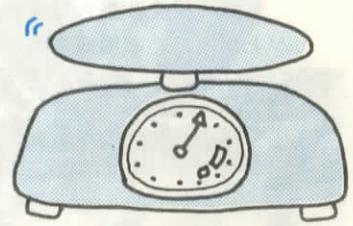
この交付金は、国から市町村へ交通安全対策のため交付されるもので、六十三年度の歳入では二〇〇万円が計上されています。

国の交付金総額は、六十二年度は九五八億円で、交通反則金を財源としています。

交通違反を犯して支払う反則金も有効に使われているわけです。

分担金および負担金

分担金とは、一般的に国または地方公共団体が行う特定の事



業に要する経費に充てるため、その事業に特別の関係ある者から徴収するものです。町では条例に基づき、受益者から分担金を徴収しています。

表IIに見る道営畑地帯総合土地改良事業(二七・五%町負担)・道営開拓地整備事業(二二・五%町負担)は、農地造成、農道整備、農業排水、農業用水工事を北海道が行うもので、受益者(農家)が一部、あるいは全額を負担することになっています。

農道については公共性があるものの考え方から町負担となっていますが、農地造成など直接農家が利益を受けるものについては農家が全額負担することにな

っています。

公社営畜産基地建設事業は、草地造成整備あるいは農業施設建設に対する事業で、全額受益者負担です。

団体営土地改良総合整備事業は、農道整備に関する事業で全額町負担となっています。

森林総合整備事業については、民有林の整備事業で、全額を受益者が負担しています。

町では、これらの事業を行うために、農林漁業金融公庫から借入し、歳入に組み入れていきます。

今年度の農業費分担金は四億五、六〇〇万円になり、このうち農道整備にかかる経費が相当部分を占めています。

このため、町では毎年九、〇〇〇万円強を借入金返済に充てています。

負担金についても、分担金と同様受益者から徴収するもので

表 II 分担金

(単位:千円)

区分	金額	説明	
農業費分担金	456,452	○道営畑地帯総合土地改良事業分担金	
		標津北部地区	37,900
		標津北部2期地区	50,000
		茶志骨地区	69,147
		武佐地区	4,700
		○道営開拓地整備事業分担金	
		川北第2地区	5,700
古多糠第2地区	4,300		
公社営畜産基地建設事業分担金	280,960	○標津地区	
		○団体営土地改良総合整備事業分担金	3,745
林業費分担金	5,525	○森林総合整備事業分担金	5,525
			461,977

保育園費、除雪対策事業などの負担金収入があります。

使用料および手数料

使用料収入総額六、三三四万円のうち五、五四三万円が公営住宅使用料収入で、他に幼稚園、社会教育施設の入場料、使用料などがありません。

手数料には、廃棄物処理手数料、諸証明手数料などがあります。

9月 町民カレンダー 1988

国民の総意もろもろ
北方領土

曜日	一般廃棄物収集区域(祭日は休みです。)	不燃物収集日
月・木	新川上町・川上町・栄町・緑町・弥栄町・曙町	8日 22日
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・桜木町・住吉町・東浜町	9日 20日
水・土	川北・伊茶仁・忠類・浜古多糠・薫別・崎無異・古多糠	7日 21日

町民憲章 = 健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。

標津町町制施行30周年

9/10(土)	標津町町制施行30周年記念式典 (10時～標津農改センター)	25(日)	
11(日)	第16回オホーツクマラソン大会 (9時～総合体育館前)	26(月)	妊婦相談(10時～役場相談室)
12(月)	3歳児健康診査 (13時～役場基幹集落センター2F)	27(火)	根室管内婦人リーダー研修会(9時45分～標津農改センター) 水泳マークテスト(18時～町営プール) ファミリーバトミントン教室(19時・総合体育館・9/27・28、10/4・6) ファミリーミニバレー教室(19時・総合体育館・9/27・28・29、10/4・5・6)
13(火)	健康相談(10時～古多糠改善センター)	28(水)	
14(水)	標津町敬老会(10時～農改センター) 第1回オールジャパンサーモンダービー(前夜祭)	29(木)	成人健康相談(10時～川北公民館) 町内中体連新人戦大会(9時・野球/バレー・卓球)
15(木)	敬老の日	30(金)	成人健康相談(10時～役場相談室)
16(金)		10/1(土)	
17(土)		2(日)	
18(日)	第15回あきあじ祭り(10時～) 第25回東北北海道川柳大会(10時～標津農改センター)	3(月)	健康相談(10時～忠類生活館)
19(月)	妊婦相談(10時～役場相談室)	4(火)	乳幼児相談(10時～標津公民館) 第7回小学生スポーツ交歓会(9時・総合体育館)
20(火)		5(水)	乳幼児相談(10時～川北公民館)
21(水)		6(木)	
22(木)		7(金)	成人健康相談(10時～役場相談室)
23(金)	書道実技講習会(10時～標津農改センター) 水泳マークテスト(14時～町営プール)	8(土)	
24(土)	第7回町民水泳大会(13時30分～町営プール)	9(日)	

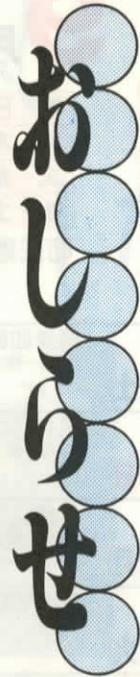
10月

一般廃棄物収集区域(祭日は休みです。)	不燃物収集日
新川上町・川上町・栄町・緑町・弥栄町・曙町	6日 20日
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・桜木町・住吉町・東浜町	7日 21日
川北・伊茶仁・忠類・浜古多糠・薫別・崎無異・古多糠	5日 19日

現在使用中の被保険者証は9月中に検認を受けなければ昭和63年10月1日以降使用出来なくなります。

つきましては、次の日程により検認を行いますので被保険者証を持参のうえ参集下さるようお願いいたします。

国民健康保険 被保険者証の 検認について



検認日程表

期 日	地 区	場 所	時 間
9月	茶志骨パイロット	茶志骨パイロット会館	午前9時～午前9時30分
	東茶志骨	東茶志骨会館	午前9時45分～午前10時15分
	茶志骨	茶志骨生活改善センター	午前10時30分～午前11時
	東浜・住吉町	住吉町生活館	午前11時15分～午前12時
16日	伊茶仁	伊茶仁会館	午後4時15分～午後5時
	忠類	忠類生活館	午後3時15分～午後4時
	浜古多糠	山形貞喜宅	午後2時45分～午後3時
	薫別	薫別集落センター	午後1時45分～午後2時30分
9月17日	崎無異	崎無異会館	午前11時～午後1時30分
	古多糠全域	古多糠生活改善センター	午前9時～午前10時
	北標津	北標津林業センター	午前10時15分～午前11時
	西北模津	西北標津会館	午前11時15分～午前12時
9月19日 ～9月30日	川北市街	川北公民館	午後1時～午後2時30分
	東～北川北	川北公民館	午後2時30分～午後4時
9月19日 ～9月30日	標津市街	役場国保窓口	午前8時45分～午後5時

お年寄りに 公衆浴場を 無料開放

道では、敬老の日に合わせてお年寄りに公衆浴場を無料開放いたします。気軽にご利用下さい。

記

1. 実施期間 敬老の日を含む3日間(9/14～9/16)
2. 利用対象者 65歳以上
3. 対象施設 公衆浴場「楠」
4. 利用方法
 - (1)対象者は番台でお申し出下さい。
 - (2)介添を要する場合は、介添者も無料です。
 - (3)期間内は、何回でも利用できます。
 (問い合わせは役場保健課へ)

財産をもらったときは

個人から財産をもらったときには、もらった方に贈与税がかかります。この贈与税の申告は、贈与を受けた年の翌年2月1日から3月15日までとなっています。

消防からのお願い

災害などが発生し、緊急サイレンを吹鳴した際に、町民の皆様からの電話による問い合わせが一時集中し通信業務に支障を来しています。

消防署では、現場の状況が判り次第、消防署の放送設備を利用し皆様にお知らせいたしますので緊急時の問い合わせは、ご遠慮願います。

町税は納期内に

今月は、固定資産税(2期)の納期です。

9月30日までに役場出納室・川北公民館・各地区納税組合長に納入願います。

お年寄りや障害者と税

国の重要な仕事の一つに、社会保障があります。お年寄りや心身に障害がある方に対しては、財政支出の面で社会保障を充実する一方、税金の面でもいろいろ特典が設けられています。

昭和63年度 第2回危険物 取扱者試験の実施について

1. 試験の種類
甲種・乙種(全類)・丙種
2. 試験の日時
昭和63年10月23日(日曜日)
3. 試験地(道東地区)
帯広市・釧路市・中標津町
4. 受験願書の受付期間
昭和63年9月1日～9月12日まで
5. 受験願書の請求先
標津消防署

救急車の正しい利用について

毎年救急車の出動回数は増加の傾向を示しています。次の事に注意しましょう。

(救急車を呼ぶときは)

局番なしの119番、通じたら次の要領で、落ち着いて話す。

①「救急」「火災」の区別

(119番は、救急車を呼ぶためだけではありません)

②来て欲しい場所の住所とその目標となる建物

③事故や病気の種類

④患者の数、性別、年齢

⑤患者の容態・状態

(意識がはっきりしない、呼吸脈はあります、出血はみあたらない)

(救急車が到着したら)

救急隊には次のことを伝える。

①今までの傷病者の様子と変化

②今までに行った応急手当

③傷病者に持病があれば、その病名

(家族や知人など、このことがわかる場合)

- 毎年9月9日は「救急の日」及び「救急医療週間」です。町民一人一人健康に注意して、正しい救急車の利用を心がけましょう。

訂正とお詫び

●広報しべつ8月号で、笹谷ミチヨさんが民生委員を16年間務めたとありましたが28年と4ヵ月間の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

●広報しべつ8月号で、標津畜産農業協同組合が標津町体育文化振興基金に300万円を寄付した記事を掲載しましたが、個人が寄付したように誤解を招く見出しであったことをお詫び申し上げます。

秋の交通安全運動 9/21~30(10日間)

重点

- 薄暮時の歩行者の交通事故防止
- スピードの出し過ぎなど無謀運転の防止

くい違っていないか!?

1. 広い道路と狭い道路、どちらが危険?

(狭い道路で発生した交通事故は、わずか18%で残りの80%以上の事故は、比較的広い道路で発生しています。)

2. 人通りが多い道路と少ない道路歩行者事故が多いのはどっち?

(人通りが多くて、車の交通量が多い道路のほうが危ない—と考えるのが一般の常識。しかし歩行者事故の70%以上は、一日の人通りが900人未満という住宅地域の生活道路や農村部等の道路で発生している。)

3. どちらの事故が多い?

「とび出し」と「直前直後の横断」(子供「12才以下」の事故に限ってみると「とび出し」がそのおよそ半分を占めているが、歩行者全体でみると「車の直前直後の横断」による事故のほうが多い)

★安全運転5則は、事故を防ぐキーポイント

1. 安全速度を必ず守る。
2. カーブの手前ではスピードを落とす。
3. 交差点では必ず安全を確かめる。
4. 一時停止で横断歩行者の安全を守る。
5. 飲酒運転は絶対にしない。



下水道受益者分担金 第3期分の納期限は 9月30日です

役場出納室または郵便局、銀行の自動振替にてお支払い下さるようお願いいたします。
●次のことに気を付けましょう。

①台所・風呂場からの排水は公共下水道の供用が開始された場合、排水を公共下水道へ流入させるために必要な施設を1年以内に設置しなければなりません。

②今お使いのくみ取り便所は公共下水道の供用が開始された場合、3年以内に水洗トイレに改造しなければなりません。

また、区域内で新築・増改築を行う場合は必ず水洗トイレにしなければ、建築は許可になりません。

9月10日は 全国下水道促進デーです

「愛される町にしたいね
下水道」

一気軽に御来場下さい

標津町町制施行30周年協賛 第25回東北北海道川柳大会

日時 昭和63年9月18日(日)

午前10時~

場所 標津町農村環境改善センター

講演 「楽しい時間を作るための川柳」

講師 曲線立歩氏

主催 標津川柳社・東北北海道川柳連盟

後援 標津町・標津町教育委員会・標津町文化協会
NHK釧路・北海道新聞社・釧路新聞社・根室新聞社・俳総合企画

いかがですか あなたの健康

九月は「がん征圧月間」です

昭和二十年代後半から結核に
かわって、がん・心臓病・脳卒
中の三大成人病が増加し、六十
一年にはこれら三大成人病の総
死亡に占める割合は六一・七％
に至っています。特に、がんに
よる死亡は年々増加の一途をた
どり、総死亡の二五・五％を占
めています。

年齢階級別で見ると、働き盛
りの三十歳から七十九歳におい
て死亡原因の一位です。がんの
発生部位別で見ると、男女とも
胃がんが最も高く、次いで肺が

ん・肝臓がんの順となっていま
す。

『予防に勝る治療はない』と
よく言われます。どこにできる
がんであれ、最大の対策が早期
発見・早期治療であることに変
わりありません。ただ残念なが
らどのがんも早期のうちには、そ
のがんに特有の症状というもの
はほとんどありません。
従って早期発見のための有力
な手段は、種々の検査というこ
とになります。本町でも、九月
六日に二回目の婦人科検診を行

寄付ありがとうございます

- ▶ 藤巻芳子さんは香典返しをやめて社会福祉協議会へ
- ▶ 聖友標津支所は活動資金として社会福祉協議会へ
- ▶ 滝川西高等学校剣道部は体育文化振興基金へ
- ▶ MOA 釧路交通安全推進チャリティーキャンペーン実行委員会は交通安全対策基金へ
- ▶ 念法真教教団は北方領土返還要求啓発費へ

戸籍の窓口から

お誕生おめでとう

おなまえ	住 所	保 護 者
畑 憲彰くん	北川北	安夫さん
栗栖 寛亨くん	双葉町	貞雄さん
大井慶四郎くん	桜ヶ丘町	誠一郎さん
堀内 銀くん	桜ヶ丘町	正洋さん
桜井 裕樹くん	共栄町	英樹さん
谷内麻里子ちゃん	伊茶仁	基悦さん
高橋 将也くん	新川上町	欣也さん
津田沙也加ちゃん	桜木町	和人さん

おくやみ申し上げます

おなまえ	住 所	年 令
藤巻 セツさん	古多糠	56
藤巻 淳一さん	古多糠	71
戸村 正直さん	桜木町	75

(7月16日から8月15日までの届出分)

人口のうごき

63年8月1日現在
()内は前月比

世帯数	2,235世帯	(- 3)
人 口	7,166人	(-14)
男	3,532人	(- 3)
女	3,634人	(-11)

町内の交通事故

7月

()内は累計

人身事故 0件(10件) 死亡者 0名(1名)
負傷者 0名(17名) 物損事故 15件(99件)

死亡交通事故 98日 (8月15日現在)
ゼロの日

表-1 がんの予防12カ条(国立がんセンター)

- | | |
|------------------------|------------------|
| ① 偏食しないでバランスのとれた栄養をとる。 | 質のものを多くとる。 |
| ② 同じ食品を繰り返して食べない。 | ⑦ 塩辛いものを多量に食べない。 |
| ③ 食べ過ぎを避け脂肪をとりすぎない。 | ⑧ ひどく焦げた部分は食べない。 |
| ④ 深酒をしなない。 | ⑨ かびの生えたものは食べない。 |
| ⑤ 喫煙は少なくする。 | ⑩ 過度に日光に当たらない。 |
| ⑥ 適量のビタミンA・C・Eと繊維 | ⑪ 過労を避ける。 |
| | ⑫ 体を清潔にする。 |



佐々木保健婦

もとひろ 山田基博医師が

標津病院の常勤に

六月に出張医として標津病院に勤めておりました山田医師が、
三が八月一日付で固定医として

います。恐れず、おつくうがらずに検診を受けましょう。早期発見が大きな予防策のひとつです。
また、表1のようながん予防

常勤になりました。

山田医師は、大阪大学医学部を卒業され、町田市多摩丘陵病院で内科医として勤めておりました。

よろしくお願いいたします。



山田医師

